

健康経営指標（KPI）実績の推移

項目	目標値	2022年度	2021年度	2020年度
従業員意識調査「現在の仕事にやりい・達成感を感じている」の回答率 (ワークエンゲージメント)	75%以上	64.6% 測定人数：534名 回答率：91.4%	81.1% 測定人数：545名 回答率：97.0%	69.2% 測定人数：548名 回答率：96.8%
WFun総合評価 (プレゼンティーズム)	A判定 連続取得	B判定 測定人数：610名 回答率：97.0%	A判定 測定人数：581名 回答率：93.7%	-
社員一人あたりの傷病による欠勤・休職日数 (アブセンティーズム)	2日以下	1.5日 測定人数：616名	1.4日 測定人数：617名	3.1日 測定人数：612名
欠勤日数/社員数		0.9日	0.6日	0.8日
休職日数/社員数		0.9日	0.8日	2.3日
平均勤続年数		21.0年	21.1年	21.3年

* 各指標の測定方法は以下のとおり

ワークエンゲージメント	従業員意識調査「現在の仕事にやりい・達成感を感じている」の回答率
プレゼンティーズム	WFun総合評価
アブセンティーズム	傷病欠勤・休職の日数をそれぞれ全社員数で平均した日数

働きやすい職場環境づくりに向けた取組み

当社は、働きやすい職場環境づくりに向けた取組みが、中長期的な企業価値向上につながると考え、ストレスチェックの結果、高ストレス部署（総合健康リスク120以上）と判定された職場については、詳細な追加調査（MIRROR*）を実施し、職場の問題点、課題等を抽出し、各職場において職場環境の改善に取り組んでおります。

なお、取組みの効果については、翌年度のストレスチェックの結果で確認しており、2019年度、2020年度、2021年度と3年連続で、職場環境改善を行ったすべての職場において、総合健康リスクが全国平均（100）以下に改善されました。

これらの取組みにより、メンタル不調による休職者の割合も減少し、結果として、社員一人あたりの傷病による欠勤・休職日数（アブセンティーズム）は、2年連続で目標を達成しています。

今後も、職場環境改善活動を継続的に実施することで、社員のワークエンゲージメントについても向上させることを目指し、取組みを推進していきます。

* MIRRORとは、組織運営、上司・同僚の支援、業務の改善等、職場の望ましい状態に関する45問の質問に答えることで、職場環境改善のニーズを抽出できるツール